

王喜の郷の輪 第2回
宮崎隆夫様 (2/3)
(社会福祉法人緑樹会理事)

配食サービスの拡販について
私は一人暮らしをしております。
年齢とともに食事に注意しなければいけない状態となっていました。
自分で作ったり、買ったりすると栄養のバランスが損れなくなり、医者に通う回数が増加するのではないかと心配しております。友人から聞きましたら管理が良くて味も専門家の考えも加えて健康な食事を作り配達もしておられると聞きました。
対応出来る状況であれば、高齢者は食事が適正でなければなりません。出来れば食事の配達の充実をはかられたらどうでしょうか。

宮崎隆夫

→ 王喜の郷では平成12年から配食サービスを行っています。皆さんの食事と同じものを配達しており、地域での高齢者の方から大変感謝されています。

(栄養士)

昭和レトロコンサート

昭和の紅白が色鮮やかに蘇る
思い出の紅白歌合戦 黄金の歌声
「長崎の鐘」「東京カチート」「高校三年生」ほか
日時 十二月七日(ケアハウス王喜の郷・食堂)十三時三〇分~十五時
十二月二十八日(シニアハウス王喜の郷・食堂)十三時三〇分~十五時
【会費】三〇〇円(お茶代・資料代)※今月は第1・第3水曜日に開催します
【問い合わせ】山根(ミント) 中村(ケアハウス)

懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください♪

のむらまさき

「思い出の紅白あれこれ」

「昭和」の時代、大晦日と言えば「紅白歌合戦」と言われる程、家族や親戚が茶の間を囲み年越し前にテレビで観る恒例番組として高視聴率を記録していました。しかし、平成から令和へと時代は移り変わり「紅白離れ」と言われ、視聴率は低迷の一途をたどっています。

当時、白組と紅組の応援合戦もみもの一つでした。また、その年の「顔」と言われるスターも応援に駆けつけました。昭和32年には映画「太陽の季節」でデビューしてスターになっていた、石原裕次郎が紅白の応援に駆け付け会場を沸かせました。昭和30年代、テレビで大人気のコメディアンになっていた渥美清も度々、応援に駆け付け会場を楽しませました。その他、トニー谷や柳家金語楼、伴淳三郎などお茶の間の人気者が続々と駆け付けました。「歌合戦」という文字通り白組と紅組の歌の対決だったわけです。第1回から第43回の紅白まで歌手として指揮者として連続出場した藤山一郎は番組最後の恒例「螢の光」を指揮する際、白組にも紅組にも公平でなければいけないと白や赤の衣装を避けるようにしていた程でした。しかし、現在一応は両軍に別れてはいますが対戦という雰囲気もなく、応援合戦なども見られなくなり盛り上がりに欠け淋しい限りです。

後年、「水戸黄門」の「飛猿」役で俳優としても活躍した歌手の野村真樹さんに昭和45年の紅白初出場の思い出を直接、聞かせていただく機会がありました。『昭和45年、TBSのレコード大賞新人賞を受賞し、授賞式が放送された帝国劇場から「紅白組」と書かれたバスに乗り、急いで紅白会場へ駆けつけ、ステージ中央のスタンドマイクで歌った記憶があります。会場は活気と熱気で満ち溢っていました。』と語っていました。

「昭和」の時代、世代を越えて人々の口から口へと歌われた歌の数々がありました。また社会現象を巻き起こしたり、国と国とが歌によって動かされた時代もありました。そんな歌が「令和」の時代も誕生し、再び活気ある「紅白歌合戦」が放送され、活気ある大晦日が来る事を願っています。

ミントの家 山根 徹

たんぽぽ通信

12月1日発行 190号
ケアハウス王喜の郷 令和4年12月号

Webページ <http://www.ryokujuukai.jp>

令和4年も12月になりました。皆様にとってこの寅年は、どんな思い出に残ることがありましたでしょうか。歳を重ねていくと別れの思い出が多く、出会いのそれが少なくなる気がします。ケアハウスで生活されている皆様が、互いに異なる人生を歩みここで一緒に生活されるのも何かの縁だと思います。なかなかお互いに話されることも少ないと思います。12月は行事予定にありますが、恒例のレトロコンサートに加え、餅つき(お手伝いは10時ごろから、あとで生餅もお出しします)、クリスマス会を行います。クリスマス会は児玉ブラウニーケーキと飲み物を用意していますが、今年はダディ上田さんの歌があります。午後1時30分食堂にお集まりください。また今年は1月からランチシリーズを行い毎月「〇〇のランチ」をお届けしました。「クリスマスランチ」が最後のランチです。年末までに皆様からの評価を聞かせて頂き来年令和5年へつなげていきたいと考えています。ぜひご協力ください。ケアハウスで飼っている蜂達も、寒くなり冬越しの準備をしています。貯えた蜜を栄養にしながら身を寄せ合って巣の中で寒い冬を越していきます。自然の生き物たちそれぞれ生きて行こうと必死です。

施設長 末谷千秋

くお知らせ>

12月のお誕生日&行事予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|-----------------|-----------|----|---------------------|----|--------------|
| | | | | 1 大雪 レトロコンサート | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 ピューティールバー | 20 餅つき | 21 | 22 | 23 | 24 クリスマス会 |
| 25 クリスマス | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 大晦日 |
| | | | | | | |

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。

***ピューティールバー:出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

****イズミ行き:午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。

*****レトロコンサート:午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のシニアハウス。同じ内容です。参加費300円

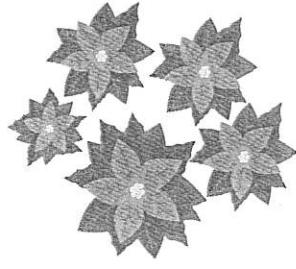
****ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

ケアハウス王喜の郷

はじめまして。9月26日よりケアハウスの事務員として勤務させていただいております、石田と申します。介護業界で働くのは初めてですが、前職でも事務の仕事をしていたので、なるべく早く仕事を覚えていきたいと思います。

また利用者さんと会話をする時に、まだお名前が瞬時に出てこない事が多いのですが、配膳の時がお名前とお顔を覚えられるチャンスなので頑張ります！

まだまだ不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけするかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



事務 石田 裕子

ケアハウス王喜の郷(厨房)

このたび、退社をすることになりました。入社から3年間、皆さんにご迷惑をおかけする事もありましたか。そんな時でも優しく教えていたたき、とても感謝しています。この3年間でたくさん学ぶことができ、自分が確実に成長したことを感じております。ここで学んだ事は私の一財産となります。最後になりましたが、長い間大変お世話をありがとうございました。これから皆さんも元気でいらっしゃることを心から祈っております。

厨房: ブティランオアン

王喜の郷デイサービスセンター

王喜の里山の紅葉の葉が落ち始め、冬支度が始まったようです。今年も残すところあとひと月となりました。デイサービスではクリスマスツリーを利用者の皆さんのが飾り付けをしてくださいました。12月8日には今年度第3回目の王喜小学校4年生とのテレビ交流会を予定しています。

今回は利用者の皆さんからのクイズの出題を予定しています。ぜひ皆さんもクイズ問題を考えてください。また、最後に4年生と皆さんで「ふるさと」を歌って令和4年を楽しく締めくくりたいと思います。

暖かいコーヒーを入れてお待ちしておりますので、お誘い合わせの上、ご参加ください。



介護職員 満瀬 伸

グループホーム王喜の郷

11月10日(木) 下関市吉田の『東行庵』へ出かけ、ドライブをしてきました。

車の中から美しい紅葉を見ることができ、「まあ、きれいじゃね。」「この辺、懐かしいね。」と会話がいつも以上に弾み、とても穏やかな時間を過ごすことが出来ました。皆さんとても素敵な笑顔で記念の写真を撮ることが出来ました。

コロナ禍で外出を控えていたので、良い気分転換になられたのではないかと思います。これからも様々な企画をつくり、活動する機会を増やして行きたいと思います。



介護職員 奥田 しのぶ

王喜の郷居宅介護支援センター

私が担当している事例を紹介します。大腿骨骨折で入院し、自宅へ帰られた時は歩行ができず車椅子でした。ご本人が歩行器でトイレに行きたいと言う希望があり、それに向けてケアプランを立てました。訪問リハビリで身体機能の向上、ヘルパーで排泄介助、通所サービスで入浴介助を行いました。一回のケアプランでは目標達成は難しく、その時の身体状況に合わせてプランは何度も変更しました。8ヶ月が経過し、今では見守りがあれば歩行器で歩けるようになりました。

この短時間にここまでできたのは、ご本人の歩きたいと言う前向きな姿勢と努力があったからだと思います。これからもできることを一緒に考えながら支援して行きたいと思います。

介護支援専門員 田邊 美江

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

日々のヘルパー業務を行っている時、ふとヘルパーは利用者の方にとってどのような存在になっているのだろう…と考えることがあります。

しかし、利用者の方から「ヘルパーさんが来ることで生活が出来ている」「誰かが来ると思うと自分も頑張らないといけないと思って元気になれる」等の言葉を聞くと少しでも日々の生活の支えになっているのだと嬉しくやりがいを感じることができます。

ヘルパーとしてこれからも、利用者の方とのコミュニケーションを大切にしながら、その方らしく毎日を過ごせるよう、一人ひとりに必要な支援を考え行なっていくたいと思います。

訪問介護員 白石 真理子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

利用開始時の説明の際に「日常生活リハビリを行なっています」と説明をさせて頂いています。

生活リハとは、これまで日常的にされていたことでは出来ることが継続していくよう取り組むものです。衣類を着替える・食事をする・移動する、また食器を拭いたり洗濯物をたたんだり、人と話をする、生活のすべてがリハビリとなります。何気ない毎日の生活動作がしっかり運動となっています。そういうことを続けて行くことが意欲・生活の維持につながるのだと思います。

自分自身で「これはできる、あれもできるのでは」とちょっと気にされてみてはいかがでしょうか。

管理者 堀 悅子

放課後等デイサービス さくら

今回は、来年の3月に学校を卒業する子(A君)の話をしたいと思います。A君は自らの発言が難しく、ずっと支援員や先生の指示を待って動く子でした。自分で動いてもらう為に、さくらでの過ごし方のスケジュールカードを提示していくも来所してすぐに全て取り除いてしまい、立ち尽くして過ごす様子がよく見られました。言われた事はやってしまう為、意思も汲み取ることが難しく、動き方や反応、目線で察する接し方になりました。そんな中でも日々「こういう時はこう言うんだよ」と受け答えを伝え続け、要求や気持ちを書いた絵カードでいつ使うのか等を説明し一緒に使ってみる事で「ありません」「行かない」など少しずつ意思が表出來るようになってきました。子ども達が自分の気持ちや意思で決めることを、これからも大切に丁寧な支援をしていきたいと思います。

さくら支援員 塩谷 一雅